

“今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

- ★最初のISS構成要素打上げから2811日経過しました
- ★第13次長期滞在クルーのISS滞在は122日経過しました
- ★ISS動向

第13次長期滞在クルーのパベル・ビノグラドフとジェフリー・ウィリアムズ、トーマス・ライター宇宙飛行士は8月3日に行われる船外活動の準備作業として、米国製宇宙服や工具の準備、ISSから船外への出入り手順の確認、「カナダアーム2」(ISSのロボットアーム)の移動などを行いました。

また、クルーは「デスティニー」(米国実験棟)内に設置された新しい冷凍冷蔵庫(Minus Eighty degree Celsius Laboratory Freezer for ISS: MELFI)を起動して使用可能な状態にしました。MELFIには合計300リットルの容量があり、実験サンプルを地上に持ち帰るまでの間保管することができます。

ウィリアムズ、ライター両宇宙飛行士による船外活動は同日午後10時55分から約6時間20分行われる予定です。ビノグラドフ宇宙飛行士はISS船内から二人の作業を支援します。この模様はNASA TVで生中継されます。

● NASA TV <http://iss.sfo.jaxa.jp/gallery/video/nasatv/index.html>



ISSの冷凍冷蔵庫MELFIの概観
(NASAケネディ宇宙センターにて) (提供: NASA)

“スペースシャトル・アトランティス号(STS-115)の状況”

NASAケネディ宇宙センター(KSC)では、今年8月に打上げ予定のスペースシャトル・アトランティス号(STS-115)の準備作業が引き続き行われています。

米国時間7月27日、NASAはアトランティス号の打上げ可能期間を1日早め、同8月27日以降としました。打上げを1日早めても打上げ時の外部燃料タンク(ET)の撮影に必要な日照条件を満たしているとの判断です。なお、正式な打上げ日は8月中旬に予定されている飛行準備審査会において決定されます。

同8月2日には、ETに結合されたアトランティス号がスペースシャトル組立棟(VAB)から射点へ向けて移動する予定です。このあと射点では打上げ前の最終準備作業が行われ、同7月26日に射点に到着したペイロードキャニスターから太陽電池パドル(P3/P4トラス)をアトランティス号のペイロードベイ(貨物室)へ乗せかえる予定です。



スペースシャトル組立棟でのアトランティス号の結合作業の様子(提供: NASA)

“トピックス”

★ 第10回NASA極限環境ミッション運用(NEEMO)訓練が終了しました

若田宇宙飛行士がコマンダーとして参加した第10回NASA極限環境ミッション運用(NASA Extreme Environment Mission Operations: NEEMO)訓練が米国時間7月28日に終了しました。

この訓練は、米国フロリダ州沖合の海底約20mに設置されている「アクエリアス」と呼ばれる閉鎖施設において同7月22日から28日まで行われました。訓練期間中、日本とアクエリアスを電話回線でつないだ共同インタビューや若田宇宙飛行士の出身地であるさいたま市の小中学生との交信イベントも行われ、若田宇宙飛行士は海底での一連の作業が自身が経験した宇宙飛行に似ていること、チームをまとめるコマンダーとして非常に貴重な経験を積んでいることなどを話しました。

NEEMO訓練の概要や現地レポート、訓練画像など以下のページに掲載していますので、ご覧ください。

● 第10回NASA極限環境ミッション運用(NEEMO)訓練 http://iss.sfo.jaxa.jp/topics/2006/0722_neemo/



第10回NEEMO訓練クルーとサポートチーム(最前列右端: 若田宇宙飛行士)



船外活動の様子



船外活動をアクエリアス内から支援するコハノヴィッチ潜水技術士



アクエリアスの外から(右: 若田宇宙飛行士)

(写真は全てNASA提供)

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。